

部名	市民部
----	-----

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	コミュニティ活動の充実					
(2)	総合計画の体系	第 02 章	市民自治が育む自立のまちづくり				
		第 01 節	多様なコミュニティ活動の充実による住みよいまちづくり				
		第 10 細節	コミュニティ活動の充実				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		28年度決算額	29年度決算見込額	30年度予算額	
		事業費(A)		65,038	67,112	85,058	
		従事職員数		5.08 人	6.98 人	7.48 人	
		所要人件費(B)		40,132	56,207	59,433	
		総事業費(A+B)		105,170	123,319	144,491	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	579	8	9
				その他	5,341	7,371	8,763
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	99,250			115,940	135,719		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	28年度実績	29年度実績	30年度計画
指標内容	市民公益活動団体届出数	目標値 (単位:団体)	295.00	274.00	283.00
		実績値 (単位:団体)	274.00	283.00	/
目標値の積算方法	数値設定は前年実績値	達成度(%)	92.9	103.3	
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:)	0.00	0.00	/
目標値の積算方法		達成度(%)	0.0	0.0	

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

専門性や地域の特性を生かした活動が促進されるよう、市民公益活動に関する情報の提供や市民公益活動団体に対する支援を進めることで団体活動の充実を図っている。市民公益活動の拠点となる市民公益活動センター(ラコルタ)や、市民活動災害保障保険事業による活動の支援が市民公益活動の促進の支えとなっている。地域住民居場所づくり活動補助金の交付団体数が増加に至らなかったことも踏まえ、補助金制度の見直しを図る必要がある。また、吹田まつり補助事業においては、今後も持続可能なまつりとなるように、事業経費の精査、事務局運営等についての課題について検討していく必要がある。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	市民公益活動センター事業	市民自治推進室	00206	全部	大	20	18	18	20	18	94	継続
2	特定非営利活動法人設立認証等事業	市民自治推進室	01787	全部	大	20	18	14	18	20	90	継続
3	市民公益活動促進事業	市民自治推進室	00201	全部	大	20	18	14	20	14	86	継続
4	市民公益活動促進補助事業	市民自治推進室	00202	全部	大	18	14	18	18	18	86	継続
5	自治会活動関係事業	市民自治推進室	00200	全部	大	16	18	18	18	16	86	継続
6	地域住民居場所づくり活動補助事業	市民自治推進室	01559	全部	大	18	12	14	16	16	76	継続
7	吹田まつり補助事業	シティプロモーション推進室	00239	全部	大	12	18	14	18	12	74	継続
8	市民活動災害保障保険事業	市民自治推進室	00204	全部	中	18	18	18	20	12	86	継続
9	吹田ボランティアフェスティバル事業	市民自治推進室	00203	全部	中	20	14	14	20	16	84	継続
10	市民活動災害見舞金支給事業	市民自治推進室	00205	全部	中	14	16	16	18	16	80	継続
11												
12												
13												
14												
優先順位をつけるにあたっての考え方		市民との協働を推進するため、市民活動を推進し、地域コミュニティ活動の充実を図ることが出来る事業を優先した。										